

北海道帯広農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1)資格取得や検定合格を通じた自己肯定感の向上を推進する (2)プロジェクト学習や農業クラブ活動を通じた主体的学びを推進する	B	(1)日本農業技術検定や各種資格の取得目標を設定し、計画的な学習に取り組む (2)プロジェクト学習・高大連携・農業クラブ活動を関連づけて横断的に展開する
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1)国際交流や研修を通じた多文化理解と視野の拡大を推進する (2)グローバル基準に基づいた農業技術の実践力育成に取り組む	A	(1)海外農業研修やオンライン国際交流を通して国際感覚を育成する (2)GAP取得後のプロセスを見直し、持続可能な農業経営の理解を深める
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1)地域農業の担い手育成を目的とした生産技術の習得を推進する (2)衛生・安全管理を重視した農業経営の学習に取り組む	A	(1)地域の農家と連携した実践的な農作業を通じて基礎技術を確実に習得する (2)JGAPや農場HACCPの内容を授業と結びつけ、衛生意識と倫理観を育てる
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1)地域の特産品を活かした6次産業化の推進に取り組む (2)地元企業や関係機関との連携による商品開発力の育成を推進する	A	(1)生産から販売までを一貫して学ぶ実習を通して、地域ブランドづくりに取り組む (2)学科横断での商品開発や検査を実施し、食品安全への意識を高める
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1)環境にやさしい農業技術と資源循環の理解を推進する (2)持続可能な地域づくりに貢献する実践的な環境学習に取り組む	B	(1)GAP管理を通じて環境負荷を減らす農業手法を実践的に学ぶ (2)家畜排せつ物を活用した堆肥づくりなど、循環型農業を推進する
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1)地域の森林や農場を活用した教育活動を推進する (2)地元との連携を通じた農業イベントや講師を招いた特別授業に取り組む	A	(1)学校林の伐採から販売、再造林までの一連の流れを学び、地域林業に貢献する (2)地域の販売イベントや特別授業を通じて、実践的な「食農教育」を展開する
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1)ICTやスマート農業機器を活用した農林業教育を推進する (2)地域課題の解決に向けたプロジェクト型学習を推進する	A	(1)温度管理システムや牛群管理システムを用いた実践的なリスク管理に取り組む (2)林業機械やGPS技術を活用し、省力化・効率化を図る実習を推進する
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1)災害に強い農業・林業の実践を推進する (2)防災意識と危機管理能力の向上に取り組む	B	(1)カラマツ林などの保全活動を通じて、防災型森林づくりを推進する (2)危機管理マニュアルを活用し、全校での防災訓練と理解促進に取り組む